

## 尿道下裂修復術クリニカルパス

入院から手術、退院までのスケジュールです。お子さまの状態、術式により変更場合があります。

経過	手術前日	手術当日		手術後1～2日	手術後3日目～	カテーテル抜去日
		手術前	手術後			
食事	夕食まで普通に食べることができます	ごはん、パンなどの固形物は食べられません。 水分制限があります。看護師と、水分の種類、時間を確認の上、水分量を水分表に記載します。	手術後2時間後より水分開始 看護師が腸の動きを確認してから水分開始です。 次の順番で進んでいきます。 ①お茶など ②ジュース・ミルクなど ③プリンなど ④夕食または軽食	水分制限が解除となれば、尿が出るカテーテルが細いのでたくさん尿が流れ出るよう飲水を進めます。 飲んだ量は計測して水分表に記載します。		
安静	病棟フリー	前投薬内服後は足元がふらつくのでベッド上でお過ごしください。	ベッド上安静 創部の安静を保つためにベッドにチョッキをつけます。 チョッキをつけたままベッドを90度まで上げることができます。 カテーテルや点滴を引っ張ったり、踏んだりしないよう注意します。		病棟フリー 圧迫解除後に看護師にて2重オムツにします。創部を圧迫しないよう横抱きで、バギーはチョッキを装着したものを使用します。歩行できる場合は、転倒・転落に注意します。夜間、入眠中はチョッキを装着します。	カテーテル抜去後も創部は圧迫しないようにします。
保清	なし	なし	なし	清拭・洗髪	清拭・洗髪	シャワー
創部処置			痛みが強いとき、熱があるときは、医師の指示に従い、座薬や内服薬を使用します	医師にて創部周囲の包帯に消毒液を注入します。	創部の包帯を除去します。除去後より1日3回医師・看護師にて創部の消毒を行います。排便時にも消毒を行います。	カテーテルを抜きます。抜いた後は基本的に消毒は不要です。
排尿排便		手術前に浣腸を行います	尿道にカテーテルを挿入し、そこから尿を回収します。4時間ごとにカテーテルや尿の観察を行います。尿の管理は看護師が行いますので、尿漏れなどに気付いた場合は看護師が確認します。 排便時のオムツ交換も看護師で行います。	便秘時は浣腸や緩下剤の内服を行います。		カテーテル抜去後、排尿状態の観察を行います。尿の太さ、勢い、1本線であるか、いきんでいないかなど観察を行います。上記のような症状があれば、看護師が確認します。
注射薬			手術室で点滴を確保して帰室します。	点滴は継続します。1日3回抗生剤の投与を行います。	術後2日目の朝の抗生剤投与後、発熱がなければ点滴を抜去します。	
内服薬		前投薬 * 眠たくなるお薬です。転倒・転落に注意し、ベッド上で静かに過ごします。			術後2日目夕より抗生剤を内服します。(1日1回、夕食後)	